

降社ニ一面ニテ言ハシテ作事セシメ分置ニ達セサルモ人安引ヲ召メ言フ
分不之ニ不服ヲ唱ヘ樓閣ノ言動ニ去リ又ハ急也事採録者ハ断然以解
ルニ方針ニ決セリ。

左ニ望ル所工傍意獨ハ休業ノ件ニ恐怖セシモ、如ク令社ニ帰附モ模
様ナルモ目下ノ事ハ相観念ハ快悦ナリ (三三七)

二二二、根本稿

昭和三年三月二日
570号

野田築地工動急情勢力ニ于ル件 (二十号)

由未遠國給撥ノ濫觴ハ大正十一年降ノ氣海邊ニ於テ乃
動運勤ニ奉差シ多ク小泉七造ヲ有テ東京深川区山崎録即
ノ徑管ニ依リ該機抵修繕兵場野田築地工事ニシテ方録テ相
談ノ由頼ル日本労働組合同盟幹部松岡駒吉ノ謀リ切カニ野田
築地圃全ヲ張手ニ給國同盟會場多クシテトテ總意セシ事ノ實ニ
主ノ山崎録知ル事アリ解任存置スルニ小泉が野田築地ノ事ヲ不ナリト思
惟シタルヲ以テ惡感ヲ抱キテ亦未ダ然トシテ其後野田築地ノ事ニ
月通ニ野田所ニ日本労働組合同盟ノ支部ヲ設クシタルヲ以テ、以後令
秋ニ同日是ノ蹟履スル事也種々改竄シテ其ノ海邊ニ來ル年一月ニ至リ年

士會局